

# はやま もり 麓山の杜みどり通信

発行元 公園振興事務所「とんがりふれあい館」  
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17  
TEL924-2194 FAX924-2195

## 郡山も連日の寒波「-12℃記録」は樹木に厳しい!

季節の生花アレンジ 教室作品



### 平成23年度「みどり講習会」

次回 3月11日(日)午前・午後開催  
場所 麓山の杜「杜のエントランス」

テーマ 「記念樹の育て方初歩講座」  
時間 午前 10:30 午後 13:00

なお、講習会参加者には抽選で樹木を  
プレゼントします(希望者は参加可)

記念樹交付「10時～15時」他は事務所へ

### ガーデニング ワンポイント

## 土の凍結、寒風で表土乾燥しますので注意を!

この冬は雪が多く気温も低い厳しい年となりこれからも続く様相です。郡山市も観測以来の最低気温を記録しました。連日、低温注意報が発令されている次第です。暦の上では節分が過ぎましたが一日でも早い春の到来が待ちどおしい毎日です。

【水やり】 土の凍結や寒風により乾きやすくなります。今の時期でも注意が必要です。暖かい日の昼前頃に樹幹全体に水やりをします。また風よけやマルチングで乾燥を防ぎます。鉢植えは特に乾燥に注意が必要です。

【肥料】 今が寒肥の時期です。油粕などの有機質肥料をあげます。発酵済みの肥料の場合はもう少し後で大丈夫です。

【病害虫防除】 退治しにくいカイガラムシなどは冬季に行う石灰硫黄合剤やマシン油乳剤散布が効果があります。晴天が続くような無風の時に散布します。ただ倍率など散布方法に注意が必要です。

【剪定】 落葉樹の剪定は今が適期となり強剪定も可能になります。大きな切り口には癒合剤を塗り少しでも腐朽の進行を防ぎます。常緑広葉樹は春まで待ちます。マツは古葉を取ったりするもみ上げといわれる作業の時期です。同時にこみあっている枝は間引きをします。すっきりとした樹形に仕上げることが出来ます。

【植え替え】 常緑樹は厳寒のこの時期はむきません。針葉樹、落葉樹は厳寒期後が適期になります。植え替えの場合は土壌改良が必要になります。



記念樹交付日イベント・緑化相談等予定表

交付予定日	みどり講習会	季節のワンポイント
3月11日	記念樹の育て方初歩講座	講習会は誰でも参加できます 抽選にて「記念樹指定樹木プレゼント」

## 庭のセシウム “除染” どうすればいいの？

今年の低温は特に常緑樹や寒さが苦手な植物には大変な冬越しとなりました。今から三十年程前になりますが冬の厳しさで土が厚く凍りつき、サザンカやツゲなどの地上部が枯れてしまった年があります。温暖化により多くの樹種が育つような環境になったようでも、相手は自然ですから時には淘汰される場合があります。

### 【落葉樹の除染】 「厄介払い」 せずに正しい知識で対処を！

樹木や芝生が放射性物質をため込んでいるような言われ方をして、今は厄介者扱いされている場合が多くあります。しかし植物には責任はありません。ただ責任の所在を論じても線量は低くはなりません。樹木に付着したセシウムなどを少なくするには取り去るしかありません。今回は落葉樹を中心に説明いたします。昨年原発事故の際には落葉樹は葉が付いていませんでした。その為にセシウムなどは樹幹や表土その上の落葉に多く付着しています。剪定をするなどの付着している部分の除去が一番です。作業方法としては安全な服装で実施します。(ゴム手袋、マスク、ゴーグル、ヤッケなど)落葉樹はこの時期には思い切った強剪定にも耐えますので、多くの枝を剪定する事が可能です。春には剪定された手前から芽を吹き出します。ただ樹形が乱れる事は覚悟してください。残した樹皮にも付着していますので粗皮や苔を削り取ります。ただし表皮までは傷つけないようにします。そしてブラシや高圧洗浄機を使って綺麗に洗い流します。その後には落ち葉や雑草などを片付けます。剪定枝や落ち葉などは郡山市のゴミの処分方法にしたがって処分します。

### 「落葉樹下にセシウム」 表土を削るのが一番

次にもっとも厄介なのが表土の除去です。5cm程削り取れば大丈夫かと思えます。ただしその後の処理がまだ決まっていないので自宅での仮置きになります。ケヤキなどの大径木では幹の根元の周囲で線量が多いに違いがあります。樹幹に付着した放射性物質が雨などで幹を伝わって流れ落ちた時の量の違いが原因と思われます。すべて樹木の除染を確実に行ったとしても空間線量だけを見るだけでははっきりとした効果は出にくいかもしれません。本来は樹木そのものにどれだけの放射性物質が含まれているのかを確認し除染効果を考えるべきです。なお、土の仮置きの仕方は別途掲載とします。



画 環境省23年12月ガイドラインより